



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社松屋アールアンドディ 上場取引所 東
 コード番号 7317 URL <http://matsuyard.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)後藤秀隆
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役CFO 経営管理部長 (氏名)松川浩一 (TEL) (0779) 66-2096(代表)
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,983	8.2	577	85.8	533	79.1	456	89.8
2020年3月期第3四半期	6,451	—	310	—	297	—	240	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 394百万円(72.5%) 2020年3月期第3四半期 228百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	176.53	173.21
2020年3月期第3四半期	106.86	—

(注) 2020年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの当社株式は非上場であったために期中平均株価が把握できませんの記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,051	2,689	44.4
2020年3月期	5,054	2,002	39.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,689百万円 2020年3月期 2,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,260	7.3	663	62.6	643	68.8	501	124.6	193.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	2,598,500株	2020年3月期	2,250,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	—	2020年3月期	—
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	2,585,210株	2020年3月期3Q	2,250,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化により企業収益の減少が続いており、雇用環境の悪化や設備投資減少の影響が見られました。一方、政府、自治体主導の感染防止や経済回復に向けた対策により、一部個人や企業の経済活動に回復の兆しがみられますが、当第3四半期会計期間後半には、新型コロナウイルスの変異種も発見されるなど、先行きに暗い影を落とし始めています。政府も急遽、水際対策を強化するなど感染拡大抑止の措置を実施していますが、拡大が抑止できるかは予断を許さない状況です。

このような状況の中、縫製自動機事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、ビデオ会議システムを利用したリモートによる対応を中心に営業及び生産活動を進めてまいりました。さらに、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、民間の設備投資需要が弱含みを見せている中、新規顧客からの問合せに対し積極的な営業活動や経費節減にも努めてまいりましたが、11月以降の感染再拡大を受け、現地への渡航に時間を要する状況となっています。こうした状況から、当社としては縫製自動機事業における営業リソースをアイソレーションガウン生産に集中させるなどして、経営資源の効率化を図りました。

また、縫製品事業における血圧計腕帯については、新型コロナウイルス感染症がグローバルで拡大する中、健康管理、疾病予防を背景として市場が顕著に拡大した結果、当初予想にも増して受注が好調に推移しました。カーシートカバーについては、新型コロナウイルス感染症の影響による納入先における工場での生産量減少により一時的に受注が減少しましたが、第2四半期以降は前年度以上に受注が増加したほか、工程見直しなどの原価低減策等を講じたことによりセグメント利益を確保しております。エアバッグについても新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込みが生じましたが、現時点では概ね前年並みの受注に回復してきています。

さらに、今後のウィズコロナ、アフターコロナを見据えて進めてきた感染症対策分野の新たな縫製品事業として、事業会社及び厚生労働省より受注したアイソレーションガウンを納入したことにより、売上高及び利益の確保につながりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,983,889千円（前年同期比8.2%増）となりました。また、利益につきましては、営業利益577,283千円（前年同期比85.8%増）、経常利益533,413千円（前年同期比79.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は456,372千円（前年同期比89.8%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における各セグメントの概況は、次のとおりであります。

(縫製自動機事業)

縫製自動機事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により設置を伴わない海外向け製品や数件の国内向け製品販売の他、部品の販売を行いました。また海外向け製品の現地設置作業の遅れについては、海外渡航制限解除を見込み準備を進めておりましたが、11月以降の感染再拡大を受け、現地への渡航に時間を要する状況となっています。こうした状況から、縫製自動機事業においては営業リソースをアイソレーションガウン生産に集中させるなどして、経営資源の効率化を図りました。なお、Matsuya R&D (Vietnam) Co., Ltd. のイノベーションセンターにおいては、次世代エアバッグ製造用システム製作を目的として部材購入や新たな技術者の採用による人件費が増加しました。

以上の結果、売上高は280,564千円（前年同期比47.9%減）、セグメント損失は19,031千円（前年同期はセグメント損失106,351千円）となりました。

(縫製品事業)

縫製品事業につきましては、健康管理及び疾病予防の意識が高まっていることを背景として血圧計腕帯の販売は売上高、利益とも業績予想を上回る結果となりました。カーシートカバー及びエアバッグについては、年度初めに新型コロナウイルス感染症の影響を一時的に受けたものの順調に回復傾向にあります。

また、8月に厚生労働省より受注した国内医療従事者向けアイソレーションガウンについては、当第3四半期に納品が完了しており、また今後の需要増加に 대응べく生産体制構築の検討も進めてまいりました。

以上の結果、売上高は6,703,325千円（前年同期比13.4%増）、セグメント利益は771,664千円（前年同期比35.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,109,789千円増加し、5,114,033千円となりました。これは主として原材料及び貯蔵品が56,331千円減少したことに對して、現金及び預金が769,345千円、受取手形及び売掛金が139,274千円、商品及び製品が94,111千円、仕掛品が119,941千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて112,017千円減少し、937,760千円となりました。これは主としてその他有形固定資産が38,457千円増加したことに對して、使用権資産(純額)が146,492千円減少したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて997,771千円増加し、6,051,793千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて470,792千円増加し、2,825,559千円となりました。これは主として短期借入金が119,616千円減少したことに對して、支払手形及び買掛金が273,643千円、未払法人税等が39,026千円、その他流動負債が242,991千円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて159,716千円減少し、537,011千円となりました。これは主としてその他固定負債が126,549千円減少したことなどによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて311,076千円増加し、3,362,571千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,689,222千円と、前連結会計年度末に比べて686,695千円増加となりました。これは、為替換算調整勘定が61,441千円減少した半面、当社普通株式の東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う公募増資により117,208千円、第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに關連した第三者割当増資)により資本金及び資本剰余金がそれぞれ28,674千円増加したこと、並びに利益剰余金が456,372千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の39.6%から44.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2021年2月3日付で「2021年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。当該業績予想については、新型コロナウイルス感染症が再拡大している中で、直近の実績を織り込みながら、最新の顧客内示情報をもとに見直した結果、特に縫製品事業において血圧計腕帯を中心に前回予想より上回る見込みであるほか、生産ラインの効率化や在庫の圧縮など費用削減に努めた結果、各段階利益が過去最高を更新したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	768,434	1,537,779
受取手形及び売掛金	1,105,684	1,244,959
商品及び製品	531,398	625,509
仕掛品	468,803	588,745
原材料及び貯蔵品	945,786	889,455
その他	184,136	227,584
流動資産合計	4,004,243	5,114,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	226,334	200,836
機械装置及び運搬具(純額)	58,314	64,653
土地	100,319	101,529
使用権資産(純額)	523,195	376,703
その他(純額)	52,720	91,178
有形固定資産合計	960,884	834,901
無形固定資産	6,000	6,819
投資その他の資産		
繰延税金資産	17,461	28,591
その他	65,431	67,447
投資その他の資産合計	82,893	96,039
固定資産合計	1,049,778	937,760
資産合計	5,054,022	6,051,793

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,042,108	1,315,751
短期借入金	869,616	750,000
1年内返済予定の長期借入金	62,304	61,846
未払法人税等	25,224	64,251
賞与引当金	26,872	44,284
受注損失引当金	8,241	26,034
その他	320,399	563,390
流動負債合計	2,354,766	2,825,559
固定負債		
長期借入金	113,612	97,532
退職給付に係る負債	112,176	110,301
繰延税金負債	36,590	21,379
その他	434,348	307,799
固定負債合計	696,728	537,011
負債合計	3,051,494	3,362,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,000	270,882
資本剰余金	17,351	163,233
利益剰余金	1,986,923	2,443,295
株主資本合計	2,129,275	2,877,411
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△126,747	△188,188
その他の包括利益累計額合計	△126,747	△188,188
純資産合計	2,002,527	2,689,222
負債純資産合計	5,054,022	6,051,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	6,451,801	6,983,889
売上原価	5,550,324	5,869,152
売上総利益	901,477	1,114,736
販売費及び一般管理費	590,751	537,453
営業利益	310,726	577,283
営業外収益		
受取利息	447	1,474
為替差益	17,838	—
補助金収入	600	7,088
その他	3,344	1,228
営業外収益合計	22,230	9,791
営業外費用		
支払利息	30,746	36,879
為替差損	—	11,761
その他	4,312	5,020
営業外費用合計	35,059	53,661
経常利益	297,897	533,413
税金等調整前四半期純利益	297,897	533,413
法人税、住民税及び事業税	70,451	104,039
法人税等調整額	△12,984	△26,997
法人税等合計	57,467	77,041
四半期純利益	240,430	456,372
親会社株主に帰属する四半期純利益	240,430	456,372

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	240,430	456,372
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△11,486	△61,441
その他の包括利益合計	△11,486	△61,441
四半期包括利益	228,943	394,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,943	394,931

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月6日をもって東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場に当たり、2020年4月5日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行280,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ117,208千円増加しております。また、2020年5月8日を払込期日とする第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当）による68,500株の発行により、資本金及び資本剰余金が57,348千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が270,882千円、資本剰余金が163,233千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	縫製自動機	縫製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	538,483	5,913,318	6,451,801	—	6,451,801
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,347	—	6,347	△6,347	—
計	544,831	5,913,318	6,458,149	△6,347	6,451,801
セグメント利益又は損失(△)	△106,351	570,119	463,768	△153,042	310,726

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△153,042千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用と、セグメント間取引消去額であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	縫製自動機	縫製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	280,564	6,703,325	6,983,889	—	6,983,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,119	—	19,119	△19,119	—
計	299,684	6,703,325	7,003,009	△19,119	6,983,889
セグメント利益又は損失(△)	△19,031	771,664	752,632	△175,348	577,283

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△175,348千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用と、セグメント間取引消去額であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大により、縫製自動機事業においては海外向け装置の設置遅れ、また、縫製品事業においては自動車産業関連商品での一時的売上減少や血圧計腕帯製造工場の一時操業停止などの影響を受けております。

しかしながら、直近の縫製品事業における各商品の受注は回復しており、また縫製自動機事業においては、政府による海外渡航制限が解除されていくと予測されることから、海外向け工事も再開されていくと想定しております。

このように当社グループにおいては、未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないものの、当第4四半期連結会計期間以降、業績が緩やかに改善していくものと想定し、将来キャッシュ・フローの見積りを行っております。